

講義名称	コミュニケーション論	担当教員名	久林 純子
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	キャリア	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SC0168

授業のキーワード	コミュニケーションとは？コミュニケーションで大切な事は？等、多様な側面からア
授業の概要	コミュニケーションに必要な言葉、マインド、フィジカル、一般常識などについての講義。 「伝える」言葉と声を磨く為に必要な課題に取り組む。
期待される学習成果 (目標)	うわべだけではない、深いコミュニケーション力とは何かを理解し、毎日行う会話や思考についてより丁寧に意識して言葉を選ぶようになる。 自分の声で自分の意見を相手に伝える事の大切さを意識するようになる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	コミュニケーションとは何か？基本として、他己紹介を行う。
2	声についてのレッスン 1	声の出し方、呼吸、姿勢など自分の声についてアプローチする。
3	声についてのレッスン 2	日本語の特徴を知り発声に活かす。機能としての発声の仕組みを確認し、自分だけの声を磨く。
4	コミュニケーションについての基礎知識 1	一般的な現代人の語彙認識について、新聞記事やコラムから考える。
5	コミュニケーションについての基礎知識 2	コミュニケーションを円滑にするための言葉の使い方「敬語」の基礎レッスン。
6	コミュニケーションについての基礎知識 3	絵本を使って、筆者が伝えたいこと、絵がかれていることの世界観、自身の意見など発表。
7	パブリックスピーキング 1	公の場で印象美人になるための話し方のルールについて学ぶ。
8	パブリックスピーキング 2	面接や名刺交換や公の場でのマナーなどコミュニケーション周りの所作についても学ぶ。
9	コミュニケーションについての応用 1	アサーティブ、アファメーションなど、最近の傾向である「言葉の持つ力」についての講義。
10	コミュニケーションについての応用 2	事例考察ー主語表現の違いによるアプローチ。
11	コミュニケーションについての応用 3	事例考察ー漢字、カタカナ、ひらがな。ローマ字など表記の違いで受ける印象について考える。
12	声と教養を磨く 1	近代文学作品の朗読し日本語の響きを感じ、作品世界を通じた教養文化を身に付ける。
13	声と教養を磨く 2	第 1 2 項の続き
14	声と教養を磨く 3	第 1 3 項の続き
15	ワークショップデイスカッション	講義全体を通しての纏め。言葉とは何かコミュニケーションとは何か改めて意見交換する。

定 期 試 験	あり。 講義内容を踏まえての筆記試験。
評 価 方 法	講義の出席 30%、提出物課題 30%、定期試験 60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	講師作成資料を使用
参 考 文 献	講義中に指示